

題材名 Lesson 9 「Save the Amazon Rain Forest」 WORLD TREK ENGLISH COURSE Ⅱ 桐原書店

1 学習目標

- 教科書p.103「ブラジルとアマゾンの現在の様子」～p.104「愛の質問」に関する説明及び本文の音声を聴き取る。
- 教科書本文の内容「ブラジルとアマゾンの現在の様子」の意味をチャンク単位で理解し、そのチャンクを言語材料としてとらえる。

2 準備

「チャンクシート」、学習計画・自己評価シート、パワーポイント教材、プロジェクタ、マグネットスクリーン、音声CD、CDラジカセ

3 展開

過程	時間	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫 (■「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	○具体的評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」 (評価方法)
	10	○これから6時間かけて行う学習の内容を知る。 ○本時の学習目標を知る。	◎本単元のテーマ「環境問題」について、ペアになり英語でやり取りする活動を行うことを説明する。 ◎英語を話す際はチャンクをつないで文章を構成することについて説明し、英文をチャンク単位でとらえることの意義を説明する。	
言語材料をとらせる過程	20	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「ブラジルとアマゾンの現在の様子」について英語で要約するための言語材料としてチャンクをとらえる。</div> ○「ブラジルとアマゾンの概要」に関する説明を聴き取る。 ○教科書本文の音声を聴き取る。 ・聴き取りのポイントをおさえて答えを見つけながら、本文の音声CDを聴く。 ○教科書本文を音読する。 ①音声CDを聴きながらオーバーラッピングする。 ②教師の後についてコーラスリーディングする。 [学習形態:全体]	◎「ブラジルとアマゾンの概要」に関連する映像を示しながら英語で説明する。その際に教科書本文にある単語や構文をなるべく多く使用するように伝える。 ◎教科書本文に関する質問(聴き取りのポイント)を板書し、答えを見つけながら聴き取るように指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <Listening Points> 1. What is Ai working on at school? 2. What made Ai very sad? </div> ◎文字よりも音声に意識して音読するよう指示する。 ◎音読はチャンク単位で区切る。 ◎机間指導をしながら、音読活動がスムーズに進んでいるか確認する。	
	15	○教科書本文の内容の意味をチャンク単位で理解し、そのチャンクを言語材料としてとらえる。 ・ペアになった一人が「チャンクシート」を見ながら、チャンク単位で日本語を言う。もう一人は何も見ないで、その日本語を英語に口頭で変換する。 [学習形態:ペア](チャンクシート)	◎「チャンクシート」を配付し、「チャンクシート」を利用した活動について説明する。 ◎「チャンクシート」の英文はチャンクごとに改行されていることを説明する。 ◎英文はチャンクで構成されていることを説明し、チャンク単位でとらえることの意義を伝える。 ■机間指導をして「チャンクシート」を再度確認させながら個別に支援する。	○教科書本文の内容をチャンク単位でとらえることができる。 A すべてチャンク単位で変換できている。 B 全体の60%程度チャンク単位で変換できている。 (活動の観察)
	5	○聴き取りのポイントに対する答えを確認する。 ○本時の学習を振り返り、自己評価する。 [学習形態:全体と個人] (学習計画・自己評価シート)	◎板書した聴き取りのポイントに対する答えを指名して確認させる。 ◎本時を振り返らせ、以下の項目について自己評価させる。 1. 本文をチャンクごとに音読できたか。 2. 本文をチャンクごとに日本語から英語に変換できたか。 3. ブラジルとアマゾンの現在の様子でどんなことが分かったか。	

1 学習目標

- 教科書p.103～104、前時の学習の内容「ブラジルとアマゾンの現在の様子」についての質問に英語で答えることができる。
- 教科書本文をシャドーイングし、チャンク単位で音声をとらえる。
- 教科書本文の内容「ブラジルとアマゾンの現在の様子」についてとらえたチャンクを活用して要約することで、チャンクを言語材料として習得する。

2 準備

「サマライジングシート」、学習計画・自己評価シート、パワーポイント教材、プロジェクタ、マグネットスクリーン、音声CD、CDラジカセ

3 展開

過程	時間	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫 (■「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	○具体的評価規準 A「十分満足」B「おおむね満足」 (評価方法)
	3	○本時の学習目標を知る。	◎「ブラジルとアマゾンの現在の様子」について前時にとらえたチャンクを使って英語で説明する活動について伝える。	
言語材料を習得する過程	12	<p>「ブラジルとアマゾンの現在の様子」についてとらえたチャンクを使って説明できる。</p> <p>○前時の学習内容「ブラジルとアマゾンの現在の様子」について説明を聴きながら、学習したことを確認する。</p> <p>○教科書本文の音声を聴き取る。</p> <p>・聴き取りのポイントをおさえて答えを検索するように教科書本文の音声CDを聴く。</p> <p>○教科書本文を音読する。</p> <p>・音声CDを聴きながらオーバーラッピングする。</p> <p>[学習形態:全体]</p>	<p>◎「ブラジルとアマゾンの現在の様子」に関連した映像を示し、それに関連した質問を投げかけながら既習事項の確認をさせる。</p> <p>◎聴き取りのポイントを示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>〈Listening Points〉 What did Ai ask Carlos to explain?</p> </div> <p>◎内容よりも音声に注意し、音読するよう指示する。</p> <p>◎机間指導をしながら、音読活動がスムーズに進んでいるか確認する。</p> <p>■机間指導をして既習事項をノートに書き取らせるなど個別に支援する。</p>	<p>○アマゾンが抱える環境問題を知っている。</p> <p>A プロジェクタに投影された映像を見てそれに関連した教師からの質問に答えることができる。</p> <p>B 映像を見て「チャンクシート」の日本語を確認しながら教師の質問に答えることができる。</p> <p>(活動の観察)</p>
		<p>○教科書本文を見ないでチャンク単位で音声をとらえる。</p> <p>・教師の後について教科書の本文をシャドーイングする。</p> <p>[学習形態:全体]</p>	<p>◎内容よりも音声に注目し聞こえた音をまねるように伝える。</p> <p>◎机間指導をしながら、活動がスムーズに進んでいるか確認する。</p>	
	20	<p>○「ブラジルとアマゾンの現在の様子」を口頭で要約することで、とらえたチャンクを実際に活用しチャンクを言語材料として習得する。</p> <p>・ペアになり、一人はプロジェクタで映し出された写真や絵、または「サマライジングシート」のキーワードをヒントにして、主語の後に続く文を既習のチャンクごとに「ブラジルとアマゾンの現在の様子」について口頭で要約する。もう一人は「サマライジングシート」の裏の正解を見ながら、要約できたチャンクの数ワークシートに記入する。</p> <p>[学習形態:ペア](サマライジングシート)</p>	<p>◎「サマライジングシート」を配付し、「サマライジングシート」を利用した活動について、活動内容を説明する。</p> <p>◎この活動での評価規準を事前に伝える。</p> <p>◎単語ではなく、とらえたチャンクを活用して要約するように説明する。</p> <p>■机間指導をして「チャンクシート」を確認させながら個別に支援する。</p>	<p>○ペアワークにおいて英語で積極的に要約している。</p> <p>○伝えたい情報を整理して話して伝えることができる。</p> <p>A 本文の内容を20(全体の80%)以上のチャンクを使って要約できる。</p> <p>B 本文の内容を15(全体の60%)以上のチャンクを使って要約できる。</p> <p>(活動の観察、「サマライジングシート」)</p>
	5	<p>○聴き取りのポイントに対する答えを確認する。</p> <p>○本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>[学習形態:全体と個人] (学習計画・自己評価シート)</p>	<p>◎板書した聴き取りのポイントに対する答えを指名して確認させる。</p> <p>◎本時を振り返らせ、以下の項目について自己評価させる。 1. シャドーイングはチャンクごとに繰り返しできたか。 2. ブラジルとアマゾンの現在の様子を英語でチャンクごとに要約できたか。</p>	

1 学習目標

○教科書p.106～108「アマゾンの森林破壊の様子」に関する説明及び本文の音声を聴き取る。

○教科書本文の内容「アマゾンの森林破壊の様子」の意味をチャンク単位で理解し、そのチャンクを言語材料としてとらえる。

2 準備

「チャンクシート」、学習計画・自己評価シート、パワーポイント教材、プロジェクタ、マグネットスクリーン、音声CD、CDラジカセ

3 展開

過程	時間	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫 (■「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	○具体の評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
	5	○本時の学習目標を知る。	◎本時の学習目標は、カルロスのメールから「アマゾンの森林破壊の様子」をチャンク単位でとらえることと伝える。	
言語材料をとらえる過程	20	「アマゾンの森林破壊の様子」について英語で要約するための言語材料としてチャンクをとらえる。		
		○「アマゾンの森林破壊の様子」に関する説明及び本文の音声を聴き取る。 ○教科書本文の音声を聴き取る。 ・聴き取りのポイントをおさえて答えを見つけながら、本文の音声CDを聴く。	◎「アマゾン森林破壊の様子」に関連する映像を示しながら、英語で説明する。 ◎教科書本文に関する質問(聴き取りのポイント)を板書し、答えを見つけながら聴き取るように指示する。	
		○教科書本文を音読する。 ①音声CDを聴きながらオーバーラッピングする。 ②教師の後についてコーラスリーディングする。 [学習形態:全体]	◎文字よりも音声に意識して音読するよう指示する。 ◎音読はチャンク単位で区切る。 ◎机間指導をしながら、音読活動がスムーズに進んでいるか確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <Listening Points> 1. What has caused many species to lose their habitat? 2. What causes deforestation in the Amazon rain forest? </div>
	20	○教科書本文の内容をチャンク単位で理解し、そのチャンクを言語材料としてとらえる。 ・ペアになった一人が「チャンクシート」を見ながら、チャンク単位で日本語を言う。もう一人は何も見なくて、その日本語を英語に口頭で変換する。 [学習形態:ペア](チャンクシート)	◎日本語から英語に変換する際に、チャンク単位で変換するように注意させる。 ■日本語から英語への変換を、次の「サマライジングシート」を利用した活動で必要となる英文に限定し変換するように支援する。 ■机間指導をして「チャンクシート」を再度確認させながら個別に支援する。	○教科書本文の内容をチャンク単位でとらえることができる。 A すべてチャンク単位で変換できている。 B 全体の60%程度チャンク単位で変換できている。 (活動の観察)
	5	○聴き取りのポイントに対する答えを確認する。 ○本時の学習を振り返り、自己評価する。 [学習形態:全体と個人] (学習計画・自己評価シート)	◎板書した聴き取りのポイントに対する答えを指名して確認させる。 ◎本時を振り返らせ、以下の項目について自己評価させる。 1. 本文をチャンクごとに音読できたか。 2. 本文をチャンクごとに日本語から英語に変換できたか。 3. アマゾンの森林破壊の様子についてどんなことが分かったか。	

1 学習目標

- 教科書p.106～108、前時の学習の内容「アマゾンの森林破壊の様子」についての質問に英語で答えることができる。
- 教科書本文をシャドーイングし、チャンク単位で音声をとらえる。
- 教科書本文の内容「アマゾンの森林破壊の様子」についてとらえたチャンクを活用して要約することで、チャンクを言語材料として習得する。

2 準備

「サマライジングシート」、学習計画・自己評価シート、パワーポイント教材、プロジェクタ、マグネットスクリーン、音声CD、CDラジカセ

3 展開

過程	時間	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫 (■「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	○具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
言語材料を習得する過程	3	○本時の学習目標を知る。	◎「アマゾンの森林破壊の様子」について前時にとらえたチャンクを使って英語で説明する活動について伝える。	
	12	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「アマゾンの森林破壊の様子」についてとらえたチャンクを使って説明できる。</div> ○前時の学習内容「アマゾンの森林破壊の様子」について説明を聴きながら学習したことを確認する。 ○教科書本文の音声を聴き取る。 ・聴き取りのポイントをおさえて答えを検索するように教科書本文の音声CDを聴く。 ○教科書本文を音読する。 ・音声CDを聴きながらオーバーラッピングする。 [学習形態:全体]	◎「アマゾンの森林破壊の様子」に関連した映像を示し、それに関連した質問を投げかけながら既習事項の確認をさせる。 ◎聴き取りのポイントを示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <Listening Points> What are many people working hard to do? </div> ◎内容よりも音声に注意し、音読するよう指示する。 ◎机間指導をしながら、音読活動がスムーズに進んでいるか確認する。 ■机間指導をして既習事項をノートに書き取らせるなど個別に支援する。	○アマゾンの森林破壊の様子や歴史的背景を知っている。 A プロジェクタに投影された映像を見てそれに関連した教師からの質問に答えることができる。 B 映像を見て「チャンクシート」の日本語を確認しながら教師の質問に答えることができる。 (活動の観察)
	10	○教科書本文を見ないでチャンクごとに音声をとらえる。 ・教師の後について教科書の本文をシャドーイングする。 [学習形態:全体]	◎内容よりも音声に注目し聞こえた音をまねるように伝える。 ◎机間指導をしながら、活動がスムーズに進んでいるか確認する。	
	20	○「アマゾンの森林破壊の様子」を口頭で要約することで、とらえたチャンクを実際に活用しチャンクを言語材料として習得する。 ・ペアになり、一人はプロジェクタで映し出された写真や絵、または「サマライジングシート」のキーワードをヒントにして、主語の後に続く文を既習のチャンクごとに「アマゾンの森林破壊の様子」について口頭で要約する。もう一人は「サマライジングシート」の裏の正解を見ながら、要約できたチャンクの数をワークシートに記入する。 [学習形態:ペア](サマライジングシート)	◎「サマライジングシート」を配付し、「サマライジングシート」を利用した活動について、活動内容を説明する。 ◎この活動での評価規準を事前に伝える。 ◎単語ではなく、とらえたチャンクを活用して要約するように説明する。 ■机間指導をして「チャンクシート」を確認させながら個別に支援する。	○ペアワークにおいて英語で積極的に要約している。 ○伝えたい情報を整理して話して伝えることができる。 A 本文の内容を21(全体の80%)以上のチャンクを使って要約できる。 B 本文の内容を16(全体の60%)以上のチャンクを使って要約できる。 (活動の観察、「サマライジングシート」)
	5	○聴き取りのポイントに対する答えを確認する。 ○本時の学習を振り返り、自己評価する。 [学習形態:全体と個人] (学習計画・自己評価シート)	◎板書した聴き取りのポイントに対する答えを指名して確認させる。 ◎本時を振り返らせ、以下の項目について自己評価させる。 1. シャドーイングはチャンクごとに繰り返しできたか。 2. アマゾンの森林破壊の様子を英語でチャンクごとに要約できたか。	

1 学習目標

○教科書p.103～108のまとめとして、環境問題に関連した語句を知り、身近な環境問題について自分は何ができるかを英語で発信する準備をする。

2 準備

学習計画・自己評価シート、環境問題クイズシート、発信準備シート、ウェビングマップシート、付箋紙、音声CD、CDラジカセ

3 展開

過程	時間	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫 (■「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	○具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
	5	○本時と次時を通して身に付ける技能や学習活動の内容を知る。	◎本時は身近な環境問題についてお互いの考えを英語で伝え合う活動をするための準備をし、次時は自分の考えを発信すると伝える。	
言語材料を習得する過程	15	<p>活動 1</p> <p>○環境問題に関連する言語材料を知る。</p> <p>・4人のグループになる。一人が環境問題カードを引き、絵を下にして机に置く。他の生徒は、置かれたカードの示す環境問題について英語で質問し、答えのYesかNoを参考にして、その環境問題が何かを当てる。</p> <p>[学習形態:グループ] (環境問題クイズシート、発信準備シート)</p>	<p>◎環境問題クイズシートを配付する。4人のグループになるよう指示し、地球上にはどんな環境問題があるか、できるだけ多くの意見を出し合うように伝える。</p> <p>◎発信準備シートを配付し、シートに示された項目に記入させる。</p>	
	15	<p>活動 2</p> <p>○環境問題に関連するウェビングマップを作成する。</p> <p>・グループごとに身近に感じる環境問題を挙げ、その問題を改善するために一人一人に具体的に何ができるか付箋紙に5つ書き出し、次に、書き出したものを整理してウェビングマップを作成する。</p> <p>[学習形態:グループ] (ウェビングマップシート、付箋紙)</p>	<p>◎付箋紙を使ってそれぞれの環境問題に対して何ができるかを5つ出すように伝える。</p> <p>◎グループで行うことにより、仲間の考えを参考に思考を広げさせる。</p> <p>◎考えを自由に出させるために日本語で行うよう指示をする。</p> <p>■机間指導をしながら、よい考えが出せるようにヒントを与える。</p>	<p>○環境問題について、自分は何をすべきか考えさせる。</p> <p>A 選択した環境問題について何をすべきか5つ挙げることができる。</p> <p>B 選択した環境問題について何をすべきか3つ挙げることができる。</p> <p>(活動の観察)</p>
	10	<p>活動 3</p> <p>○ウェビングマップを参考にして自分は何ができるかを英語で発信する準備をする。</p> <p>・一人一人が身近に感じる環境問題の一つを選び、その問題を改善するために自分は何ができるかを発信準備シートに日本語で記入する。次に、その内容を英語に直す。</p> <p>[学習形態:個人] (発信準備シート)</p>	<p>◎自分の語彙力の範囲内で発信できるように、やさしい表現を使うように伝える。</p> <p>■机間指導をしながら、自然な英語で発信できるように個別に支援する。</p>	
	5	<p>○本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>[学習形態:全体と個人] (学習計画・自己評価シート)</p>	<p>◎本時を振り返らせ、以下の項目について自己評価させる。</p> <p>1. プレーンストーミングで環境問題に関連した言語材料を知ることができたか。</p> <p>2. 自分の伝えたい環境問題が英語に直せたか。</p>	

1 学習目標

○教科書p.103～108のまとめとして、環境問題に関連した語句を知り、身近な環境問題について自分は何ができるかを英語で発信する。

2 準備

「チャットチャート」、学習計画・自己評価シート、発信準備シート、ウェビングマップ

3 展開

過程	時間	学習活動	◎指導上の留意点及び支援の工夫 (■「おおむね満足」に達していない生徒への手だて)	○具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)	
考えを発信する過程	3	○本時を通して身に付ける技能や学習活動の内容を知る。	◎本時は身近な環境問題について、自分の考えを英語で発信する活動をする伝える。		
		身近な環境問題について自分は何ができるか英語で発信する。			
	10	○身近な環境問題について英語で発信する準備をする。 ・身近に感じる環境問題について前時に作成した英文の原稿を覚え、発信する準備をする。 [学習形態:個人](発信準備シート)	◎身近な環境問題について、自分なりの考えを英語に直して暗記し、それを発信できるように準備させる。 ■机間指導をしながら、生徒が英語に直せない、または発音できない表現があれば支援する。		
	27	○「身近な環境問題」について「チャットチャート」を活用し自分の意見や考えを発信する。 ・ペアになり一人は「チャットチャート」に示された第1ステージから始め第4ステージまでの質問項目から選択し質問する。もう一人は何も見ないでその質問に英語で答える。 ・「チャットチャート」に示された相づち表現、繰り返し表現を活用して、話しやすい雰囲気を作り、相手の答えを引き出すことで会話を継続させる。 [学習形態:ペア](チャットチャート)	◎ペアになるように指示し、質問する人と答える人を決めさせる。 ◎この活動での評価規準を伝える。 ◎答える際には、なるべく習得したチャンク単位で答えるように伝える。 ■机間指導をしてチャンクをつないで発信できるように個別に支援する。	○生徒同士の対話において話題に沿って対話を継続することができる。 ○対話を継続するための相づちや繰り返し、聞き返しといった基本的な会話技術を知っている。 A 会話技術を活用しながら「チャットチャート」の4th stage以上会話を継続することができる。 B 会話技術を活用しながら4th stageまで会話を継続することができる。 (活動の観察、「チャットチャート」)	
	10	○本時及び6時間の学習を振り返り自己評価する。 [学習形態:個人]	◎本時を振り返らせ、以下の項目について自己評価させる。 1. 「チャットチャート」の質問に英語で答えられたか。 2. 質問にはチャンクで答えられたか。 ◎6時間の学習を振り返らせ、以下の項目で自己評価させる。 1. 「チャンクシート」を利用した活動を通して、英文の意味をチャンクごとに理解し言語材料としてとらえられたか。 2. 「サマライジングシート」を利用した活動を通して、教科書の内容を口頭で要約し言語材料として習得できたか。 3. 「チャットチャート」を利用した活動を通して、英語のみの会話を継続し自分の考えを英語で発信できたか。		